

株式会社深松組

所在地 宮城県仙台市青葉区北山1-2-15

従業員数 116人

事業内容 特定建設業・不動産賃貸業・不動産取引業

(令和3年8月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

深松組が健康経営に取り組むことになったきっかけは大きく分けて2つあります。

1つ目は、健康管理への意識の低さでした。当社は『社業の維持発展を通じて従業員の高い福祉を図っていく』という社是のもと、従業員のスキルアップサポートを長年行ってきました。しかし、健康増進の取り組みについてはあまり進んでいなかった為、社内全体で健康管理の意識が低い状態が続き、保健指導対象者の人数もなかなか減りませんでした。

2つ目は、従業員だけでなく、普段支えてくれている家族も一緒にケアできる仕組みをつくりたいという思いからでした。従業員が健康でいなければ、十分な力を発揮できず、会社の業績に関わる大きな問題となります。そこで、従業員とそれを支える家族の健康もきちんとケアすることは、会社にとって当然の課題だと考えました。

「会社=人」という考えのもと、健康管理の意識づけをし、本人だけでなく家族も心身共に健康であるため、健康経営に取り組んでいます。

特に力を入れた取り組みとその効果

特に力を入れているのは、こころとからだの健康保持・増進です。具体的には、管理栄養士を招いての講話や野菜摂取量チェックのイベントを実施し、従業員の健康管理に対する意識を向上させたり、ソフトボール大会やフットサル大会等に参加することで運動機会を増やす取り組みを行っています。はじめは、からだの健康が目的でしたが、大会に向けた練習によって、老若男女問わず社員同士のさらなるコミュニケーション促進の効果も得ることができ、こころの健康にもつながっているようです。

また、余暇の充実やワークライフバランスの実現ができる外部の福利厚生サービスへ加入し、従業員はもちろん、その家族へのケアも拡充したことで、従業員から「家族と過ごせる時間が増えた」という声もあがりました。

これらの取り組みを行った結果、一人一人の健康意識が高まり、保健指導対象者の人数が減少し、定期健康診断に加えて自主的に人間ドックを受ける人も増加しました。

全社的に健康に対して取り組むことで社内の一体感の構築に役立てることも期待できるため、これからも健康経営を続けていきたいと思えます。



MIFA フットボール大会



福利厚生事業主催のソフトボール大会